

上 川 の 研 究 活 動

研修副部長 士別市立糸魚小学校

校長 若林 徹

I は じ め に

上川管内校長会は、上川支庁管内のうち、旭川市を除く3市17町2村の公立小中学校 長 105 名で組織されている。旭川市小学校・中学校両校長会とは、研究活動をはじめ組織活動全体を通して綿密な連携を保ちながら、上川教育の継承と前進に努めている。



II 研究の方針と推進の重点

1 方 針

全連小埼玉大会・会場前にて

- ① 学校経営及び教育活動の交流を図ることを通して、豊かな人間性を育てる教育課程の編成に努めるとともに、市町村及び地区ごとの研修を一層活性化し、その交流を図りながら成果を管内的に積み上げ集約していく。
- ② 道小研究大会・全連小研究協議会及び道中研究大会・全日中研究協議会等への積極的な参加を図りその成果を管内教育の深化・充実に生かすよう努める。

2 推進の重点

- ① 事務局との連携強化を図る。
- ② 旭川市小学校長会・旭川市中学校長会、関係機関との連携強化を図る。
- ③ 部内協議の効率化（メール活用）と業務推進状況の情報共有化を図る。

III 研究主題（第9次3か年継続研究第2年次 平成25年度策定 2年次）

◎基本主題「新たな知を拓き 人間性豊かな社会を築く 児童生徒を育てる学校教育の創造」

○研究主題Ⅰ 創意と活力に満ちた学校経営の推進

- ・小主題1 学校経営ビジョンの実現と活力ある学校経営
- ・小主題2 教育改革を進める学校づくりと評価を生かした学校経営

○研究主題Ⅱ しなやかな知性と豊かな人間性を育む教育課程の創造

- ・小主題1 確かな学力の向上を目指す教育
- ・小主題2 豊かな心や新たな社会形成能力を育てる教育
- ・小主題3 健やかな体やたくましい心身を育てる教育
- ・小主題4 今日的な教育課題に対応する教育

IV 研究推進と業務計画

- 1 市町村研修担当者会議の開催～研究推進体制の確立と今年度の研究活動の共通理解
- 2 三校長会研究担当正副部長会議の開催
 - ・上川管内公立小・中学校長教育研究大会の計画立案と次年度の方向について
- 3 研修部会の開催
 - ・管内研究大会・研究紀要の編集業務、全連小・全日中・道小・道中等の研究大会への参加促進・今日的な課題に関する研修会への参加

V 研修活動の実際

1 全連小各種委員会調査への協力

2 上川管内校長会地区別研修会の開催

・南部地区 7月25日(金) 中部地区 7月28日(月) 北部地区 7月29日(火)

3 上川管内公立小・中学校長教育研究大会の開催

- ① 主 催 旭川市小学校長会 旭川市中学校長会（主管） 上川管内校長会
- ② 期 日 平成26年8月6日（水）
- ③ 会 場 旭川勤労者福祉会館，旭川市ときわ市民ホール
- ④ 講 演 北海道教育庁上川教育局 局長 小野寺 一郎 様
- ⑤ 分科会 6分科会（小学校4分科会，中学校2分科会）

4 北海道小学校長会教育研究大会日高大会への参加

- ① 期 日 平成26年9月12日～9月13日
- ② 会 場 新冠町 新ひだか町
- ③ 第4分科会において 中富良野町立本幸小学校 小山田 雅春 校長が研究発表
- ④ 参加者30名 各分科会の充実が図られ，有意義な大会となった。

5 全連小研究協議会埼玉大会への参加

- ① 期 日 平成26年10月23日～24日
- ② 会 場 さいたま市
- ③ 参加者7名 全国の学校経営の情報が交流され，充実した研修となった。

6 全日中研究協議会苫小牧大会への参加

- ① 期 日 平成26年10月9日～10日
- ② 会 場 苫小牧市
- ③ 参加者25名 全国各学校の学校経営について情報が交流され，充実した研修となった。

8 今日的な課題に関する研修会の開催

- ① 期 日 平成26年7月31日（木）
- ② 会 場 旭川市民文化会館
- ③ 「地域とともにある学校づくりの推進に向けた制度等活用」（コミュニティスクール）
- ④ 全国，また占冠小中学校の取組状況が説明され有意義な研修会となった。

VI 本年度の成果と課題

- ① 管内公立小・中学校長教育研究大会について
 - ・旭川小学校長会が立案した3か年継続研究の2年次とし実施された。
 - ・次年度は旭川市小学校長会が主管となる。反省に基づき，三校長会で新たな会場で実施し，高評価を得た。講演の講師選定と謝礼との関わりで検討を要する。
- ② 地区別研修会について
 - ・各地区とも円滑な運営がなされ有意義な内容であった。
 - ・学校数の減少より，平成27年度からの地区研のローテーションについて新たな方向性を検討した。
- ③ 今日的な課題に関する研修会について
 - ・緊急性のある課題について関係機関との連携を図りながら，今後とも研修の場をもつ。
- ④ 今年度も，愛情と信頼，研鑽と結束の下，各種の研修会を実施することができた。また，各種大会にも積極的に会員の参加を得ることができた。

